

農協と組合員をつなぐ広報誌

なかしゅんべつ



「北海道をもっともっと食べようランチパーティー」が中標津町ウエディングプラザ寿宴にて11月23日(木)に開催されました。

北海道の食材がた〜くさん詰まったこのイベントも、今年で開催10年目を迎え多くの人でにぎわいました。



12月号

2016 Vol. 467

生産者と消費者が信頼できる ブランド作りを目指して



平成28年度役員道外視察研修を10月17日から20日にかけて役員11人、事務局1人により近畿方面にて実施いたしました。この度は、ブランド価値を維持・発展させるための生産者の取り組みと、地域の特徴を生かした農協事業運営について研修を行うため、三重県にあります農事組合法人一本松畜産組合、大内山酪農農業協同組合を訪問し、農場並びに工場の視察と酪農・畜産情勢、農協事業運営について意見交換を行いましたのでご報告いたします。

一本松畜産組合は、三重県の「松阪牛」を、県内2農場（亀山市、津市）で肥育しております。松阪牛とは、三重県内の指定生産区域に生後12カ月齢までに導入され、松阪牛個体識別登録システムに登録された黒毛和種、未經産の雌牛」と定義され、肥育期間中においても指定生産区域でのみで肥育されることが条件となっており、厳しい品質管理を行うことにより世界的なブランドの価値を維持しております。

視察を行いました津市農場においては、平成16年に豚肥育農家の跡地を購入し、現在敷地面積2haの中、豚舎を改良した肥育牛舎10棟で黒毛和種約600頭を肥育しております。素牛はそ

のほとんどを南北北海道家畜市場と十勝家畜市場より導入しており、この農場において24カ月程度肥育しJA全農みえを通じ出荷しております。

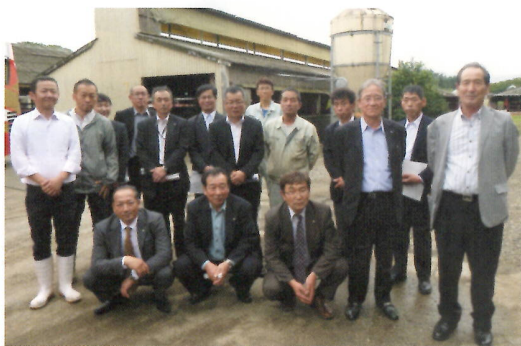
粗飼料については全量輸入粗飼料を給与しておりますが、併せて嗜好性向上と脂質、肉質向上のため、さとうきびの絞り粕を給与していることが飼養管理の特徴であるとのことでした。

また、家畜糞尿については場内にある堆肥舎において堆肥化し、近隣の茶畑農家に無償で利用してもらっているとのことでした。

農場管理者からは、「最近

農事組合法人一本松畜産組合
(津市農場) 三重県津市

厳しい品質管理で世界的
ブランド価値を維持



大内山酪農農業協同組合
三重県度会郡大紀町

新鮮なうちに処理加工、
牛乳の良さをいかした
製品づくり



の素牛高騰により導入コストは当然のことながら上がっているが、肥育牛の価格に十分反映されている状況にはない。素牛価格はしばらくはこの値段で推移すると予想しており、決して樂觀できる情勢ではない。また、新たな市場として海外への輸出も松阪牛協議会を通して取り組みしているが、松阪牛のブランドは海外には知られているものの、需要の高い部位がステーキ用などに限られていることから、なかなか進まない状況である。他の部位を含めた牛肉活用を海外の消費者へ浸透させることが課題である」との話を聞かせていただきました。

視察研修受入に際し、谷川原組合長、服部専務をはじめとして、多数の方にお出迎えいただき、冒頭、谷川原組合長より事業概況を含め挨拶をいただきました。
大内山酪農農業協会は、三重県(面積5777m²)全域をカバーする形で27戸の生乳生産農家を持ち、生乳受委託販売事業、指導事業、購買事業を行っております。農協本所並びに工場は三重県のやや南部である大紀町に位置しており、平成元年に現在地に移転した工場により、12台のローリで集荷した日量約90tの生乳を、施設内にある生乳検査室にて抗生物質等検査を行い、5

大内山酪農農業協同組合概況

【組織】 ※平成28年4月1日現在

設	立	昭	23	年	11	月	29	日
組	員	55	人	(正組	員	27	人、准組	員
役	員	11	名					
職	員	95	人	(正職	員	75	人、臨時	20
出	資	金	182	百	万	円		

【現況】 ※平成27年度

飼	養	頭	数	4,009	頭	※うち	経産	牛	3,438	頭		
年	間	生	産	乳	量	33,529	t					
工	場	牛	乳	処	理	能	力	102	t	(日量)		
総	事	業	高	9,227	百	万	円					
うち	牛	乳・	乳	製	品	売	上	高	4,663	百	万	円

基あるストレージタンクに受け入れしております。工場から生産農家までの距離が最長で片道150kmもあるとのこと。その後、加工ラインにおいて、牛乳、ヨーグルト、バター、プリン、アイスクリームなどに製品化し出荷しております。牛乳については、三重県中南勢部を中心に学校給食として371校に卸しており、また、牛乳を含めた乳製品は近畿中部地方一円に生協や

スーパードライなどを通じ販売しております。1日の牛乳売り上げは6万本となり、地域の独自ブランドとして広く消費者に知られております。

主要事業である乳業事業については、組合員生産者の良質な原料乳を良・質とも損なうことなく新鮮なうちに処理加工し、牛乳の良さを生かした製品づくりを目的とした処理・加工事業と、生産者と消費者がお互い顔

の見える信頼関係を築き、生産者から直接消費者に届けることを目的とした販売事業で成り立っております。
処理・加工事業の運営については、高い乳質と安定的な原料乳確保が必要ことから、農協として乳成分安定対策事業として5000万円の計画予算の中で乳質に応じた奨励金を設定することで、乳質の維持・向上に努めており、また、安定的な生産量確保のためホルスタインの種付料の半額を助成する後継牛確保



工場視察を終えた後は、事務所にて農協事業運営とTPPをはじめとした農業問題について意見交換を行い、大川原組合長からは、過疎地域の中で大内山酪農協が、農家組合員はもろろん地域の基幹産業として果たしている役割についてお話しいただきました。
最後になりますが、ご多忙中にもかかわらず対応いただいた「農事組合法人一本松畜産組合」並びに「大内山酪農農業協同組合」には、心よりお礼申し上げます。報告とさせていただきます。

JA北海道
女性大会・
北海道
家の光大会

いつまでも綺麗で いるための講演

女性部では11月10日(休)から11日(金)にかけて、シャトレレーゼ・ガトーキングダムサツポロにて開催された平成28年度JA北海道女性大会・北海道家の光大会に当女性部から4人が参加してきました。



「エンディングノート」を活用 元気なうちにめいっばい楽しもう

西原憲一氏の講演



10日の西原憲一氏の講演「エンディングノート」の活用について「終活・ハッピーエンディングのすすめ」では、終活に関する前向きなお話をしていただきました。

「終活とは終い支度とは全く別物です。日本ではこれまで人生の終焉を考えると「縁起でもない」と捉えられており、もしもの時は心配するな」という家族の固い絆、また、親戚やご近所同士で面倒を見てもらえる地域社会がありました。しかし、超高齢化社会となった今、縁起でもない「から家族に迷惑をかけたくない」という考えの人が急増し、人生の終焉に目を背けずしつかり受け止め、後悔しない人生を送るために学び、行動する動きがでてきたのです。終活のメリットは自分の事を書きおこし「見える化」することにより残りの人生、

どう生きていきたいかという望みを形にし、人生の終わりに向けて、自分らしく前向きに準備をすることができるといふことなどをお話ししていただき、また、「エンディングノートをつけることにより今までの自分の人生のたな卸し、現在の自分の現状評価・自己分析、これからの自分の人生と終焉期を思い描くことができ。これは自身の体が不自由になった時、家族・友人・お世話になった方たちへの願いなどを書くこともできます」。

「ベンジャミン・フランクリンと言う人の言葉で、今日という1日は、明日という日の2日分の価値がある」という言葉を残した人がいます。元気なうちにやりたい事をめいっばい楽しめるよう、私もエンディングノートを書いているのです」といってお話をしていただきました。

会場からはたくさん拍手が送られ、講演は終了となりました。



「よもぎ白玉」で地域の絆が深くなった 【家の光記事活用体験発表】

齋藤道子さんが「家の光」の掲載記事から学び実践したことを発表

家の光記事活用体験発表では、当女性部から齋藤道子さんが根室地区の代表として「家の光」の掲載記事から学び実践したことを発表していただきました。別海町の説明から始まり小さい頃の貴重な読み物として家の光があつたこと、女性部の役員になってからはQ&Aの記事などでTTPP問題やJA改革、組織づくりとはどういふものかを考え、教科書として勉強になっていくこと、今年度の共進会で家の光に掲載されていたよ

「今日の自分が一番若い頃の
のちの花を咲かせましょう！」

**おしゃれを
しない人は
泥棒より醜い**

大金義昭氏の講演



もぎ白玉を提供するまでに
役員の間で協議、試作をす
ることによって提供する準
備を整え、同日には北見の
ハッカ油を使ったおしほり・
軟こう・スプレーを作り、部
員に評判が良かったこと、共
進会でよもぎ白玉だんごを
提供し、皆に食べてもらおう
とによって地域の絆がより
一層深くなったと思うこと
などを、全道から集まった
約550人の前で発表して
いただき、発表を終えると
会場からは大きな拍手があ
がりました。

午後からの講演では大金
義昭氏の講演「今日の自分
が一番若い頃のちの花を
咲かせましょう！」では「人
は、人の視線により磨かれて
いきます。芸能人なんていう
のは見られる仕事ですから
ね、あの方たちは素晴らしい
です。皆さん今日はマス
クをしている方、化粧が濃
い方、化粧をしていない方
いろいろつしゃると思いま
す、ある人の言葉でこんな
ものがあります。「おしゃれ
をしない人は泥棒より醜い」
は、綺麗になるにはどうし
たらよいか？ 答えは簡単
です。女性部役員を引き受
ける！そうすれば皆さん人
前に出るでしょう？ スッ
キリ・サツパリ化粧して、元
気で明るく大きな声で活動
しましょう！」と終始会場
からは笑い声が絶えない楽
しい講演となりました。



J A中春別メンバーでパチリ

くも優秀賞となりました。
J A北海道女性本大会で
は道女性協役員よりJ A道
女性組織強化基本方針(案)
が説明され、全体協議では最
初はこんな私が女性部のた
めに何ができるのかととて
も不安でしたが、今日の講
演を聞いて自分の中に気持
ちを留めるのではなく、ど
んどん発信していくことが
大切なんだと学びました。
自分にお嫁さんができた時
にはこの話をしてあげたい
と思います。「今回この大
会に出てきてとても充実し
た時間を過ごせることがで
きました。これからもこん
な機会があればどんどん参
加してきたいと思えます」
など活発な意見が交わされ
ました。参加された皆さん
お疲れ様でした。

美味しい料理と尽きない会話が元気の秘訣! 木の实部会 お楽しみ会

木の实部会のお楽しみ会を11月9日(水)に白樺
にて行いました。
「この漬け物、粕漬けかしら? とっても美味しい!」
「いつも思うけれど、ここをちらしずし本当に美味しい
わ!」とご飯を大人数で囲み、会話と笑いが途切れる
ことなく、皆さん楽しめる中、食事が落ち着いたところ
でミニゲームを開催しました。今回は小豆運びを行
い、普通なら大豆を運ぶところですが、今回は大豆よ
りも難易度の高い小豆で挑戦しました。小さくツルツ
ルした小豆を30秒で隣の皿へ移すのに最初は手こ
ずっていた皆さんですが、コツを掴むとスイスイと小
豆を運ぶことができていました。一番多い方で11個も
の小豆を運ぶことができ、普段小豆を箸で運ぶことが
ないため、初めての体験を皆さん楽しまれていたよう
でした。



ご飯を囲みながらおしゃべり、話題はつきません

根室管内J A家庭介護教室

ストレスと向き合う方法と家庭介護

根室管内J A家庭介護教室が10月27日(木)に開催されました。

講師にはJ A北海道厚生連の先生たちをお招きし、ストレスとの付き合い方と家庭介護実技を教えてくださいました。「ストレスは調味料の塩と同じです。ありすぎてもなさすぎても影響

が出てまいります。適度なストレスは人生のスパイスとなるのでストレスを感じた時の対処法を学んでいきましょう」。講演中には心の体操方法も教えていただき、目を閉じて腹式呼吸を2回



わかりやすい説明をしてもらいながら実践です

する、顔から足先にかけての脱力方法などすぐに実践できるような簡単なものばかりでした。実技では食事の介助・移動介助の基本動作を学び、重心の掛ける方・家庭介護をする上での工夫などを教えていただきました。終了



和気あいあいとした雰囲気、参加された方達は楽しんでいらしたようでした。



プリンを食べさせ合います

フレッシュミセス部会 チーズ作り

手作りチーズはどんな味？



熱湯でチーズをやわらかくします

たものとまた違った味が楽しめるそうです。参加された皆さんは「こんなにたくさん！私べつかいのチーズ屋さんのさけるチーズが一番好きなの、一人で食べきれないよ、うに気をつけなくちゃ！」とたくさんさんのチーズをお土産に持って、笑顔で解散しました。



この金型でさけるチーズが何本も作れます

温めて分離させたチーズを熱湯につけて伸びやすくしながら成形していきます。チーズの塊を伸ばす、たたくお繰り返ししながら温めたチーズは金型へ入れていき、金型から飛び出してしまったところは包丁で切りおとしもう一度熱湯につけて余すことなく使いきります。最後は塩水に30分ほど浸し真空パックをすれば完成です！作りたてのチーズは中に塩味が浸透しておらず牛乳の味が濃いため、時間を置いたもの

フレッシュミセス部会では11月8日(火)にべつかい乳業興社にてチーズ作りを行いました。



もつともつと

北海道産の食材を食べよう

北海道をもつともつと食べようランチパーティー



中春別農協マスコットキャラクター「モ〜ちゃん」初お披露目で大人気!

「北海道をもつともつと食べようランチパーティー」が、中標津町ウエディングプラザ寿宴にて11月23日(水)に開催されました。

北海道の魅力をもつともつともつと知ってもらいたい!

牛乳や米などの道産食材にこだわった料理の試食、レシピ紹介など地産地消と北海道の魅力を知ってもらうことを目的として行ってきたイベントも、今年で開催10年を迎えました。

各地区の着ぐるみたちが入り口にてお出迎えすると、子どもたちが喜び記念撮影したりと大人気でした。会場内では道産米を始め、6種の料理やJA根室地区女性協が作るおつまみやスイーツの試食、レシピの配布などが行われました。

また、中春別農協青年部(兼松真武部長)では昨年より本数を増やし、「なかしゅんミルクロール」レギュラーサイズ10本、ハーフサイズ15本を販売したところ、販売開始から30分もたないうちに25本があつたという間に完売し、試食用に準備した分を急遽販売に回すほどの盛況ぶりでした。

最後に道産食材など豪華商品が当たるお楽しみ抽選会が行われ、北海道の味覚を堪能してもらえようような商品ばかりでした。

この企画をもつと多くの方々を知っていただき、北海道の魅力を発信できたと思います。



元気に

別海町の酪農を盛り上げたい!

酪農女子会「Stron♡gyu」が発足



「Stron♡gyu」酪農女子会発足、写真左から3番目がJA中春別酪農ヘルパー利用組合・渡辺有紀さん

農林水産省の農業女子プロジェクトに参加したのがきっかけで、小林晴香さんと渡辺有紀さんが出会い、「別海町を盛り上げたい!」と意気投合し、酪農家だけでなく人工授精師、ヘルパー、獣医、農協職員など他業種の人たちが集まって情報交換や夢、悩みなどいろいろ話したい! と今年の9月29日「Stron♡gyu」酪農女子会が発足しました。

現在の会員は9人で平日の昼間に集まり活動しています。活動の土台作りとしてフェイスブックやSNSに活動を掲載し、酪農の仕事をもっと身近に感じてもらうつもり、興味を持ってもらえるよう日々積極的に活動を行っています。

Stron♡gyuを代表して2人の女性に酪農にかける思いを寄稿していただきまして、ご紹介させていただきます。



ふゆとびあに向けメニューを考えながら試行錯誤

女性の頑張りを全国に発信、活動できたら

小林 晴香さん

発足のきっかけは、農林水産省の農業女子プロジェクトに参加したことでした。そこで全国の農業女子と交流する機会があったのですが、まず名刺交換から始まり、みなさん自分の生産品をしつかりとアピールして…自分の生産品をアピールするなんて考えたこともなかった私は衝撃を受けました。

酪農家としての目標はもちろんありましたが、そこに女性ならではの、私ならではの別海町の酪農との関わり方がもっとあるのではないかと、思い、少しずつ知人に声をかけ「Stron♡gyu」を結成しました。

目的として①酪農女子のキャリアアップ、②「別海町生乳生産日本一」を全国へアピール、③酪農女子を増やす。まずは活動の土台作りとして、フェイスブックのページの作成に力を入れています。全国の酪農関係の方に見ただけでいるようで、少しずつ応援のコメントもいただけるようになりました。

私以外のメンバーは町外出身で、経歴も年齢も職業もバラバラ。話してみると生まれも育ちも別海町の私からすると、目線もアイディアも少し違う。別海町の事を考え、日々乳牛と向き合ってくれている姿は本当に頼もしいです。そんな女性たちが別海町で頑張っている姿は、別海町の酪農を盛り上げるためには何よりも全国へのアピール効果があると思います。

「Stron♡gyu」の名前は別海町の酪農を支えてきた女性たちをイメージして、私が単独で付けさせてもらいました。今ブームになっている農業女子というと、女性らしく可愛いイメージ



前列左から渡辺有紀さん、左伯遥さん、酒井優衣さん、性全(しょうぜん)祐美さん
後列左から小林晴香さん、飯井祐里さん、早坂紀恵さん、山賀牧子さん、今井加奈さん(当日欠席)

があると思いますが、別海町の酪農の基盤を作ってくれたのは父や祖父の開拓した男性たちで、それを支えてきた母や祖母の代の女性たちをイメージすると「Strong♡gyu 強い」という言葉しか思いつきませんでした(笑)

家事や育児、それ以上に酪農を支えてきた女性達は本当に強くて逞しい。そこに子で別海町で頑張っている

姿を見ると、スーツとツナギの仕事着が違うだけで、都会のキャリアアウーマンと何も変わらないんだと思うようになりました。吹雪の日も、何十kmと車で走り乳牛と格闘する女性の獣医師、人工授精師、酪農ヘルパー、酪農家に嫁ぎ、家事や育児、仕事などに奮闘する町外からきた女性たちを見ていると、本当に元気がもらえます。そんな女子たちの頑張りを全国へ発信し、自然と若者が集まるような活動ができたらと考えています。

酪農の面白さ、 格好良さに惚れました

渡辺 有紀さん

フェイスブック URL

facebook.com/strongyu

私は牛が好きで、酪農という仕事に惚れ別海町に来ました。酪農ヘルパーとしては2年目でまだまだ未熟ですが、この1年半で学んだこと、感じたことは本当にかたくさんあります。改めて酪農という仕事の面白さや、



今回このStrong♡gyuの発足が別海町発展の第1歩になれば嬉しいです。Strong♡gyuメンバーの今後のキャリアアップはもちろん、日本全国の方に酪農を、別海町を知っていただきたいです。そして何より別海町にはこんなに元気でパワフルな酪農女子たちがいることをアピールできたらと思っています。

▲別海町マルチメディア館にてパネルディスカッション「もっとうすれば酪農は楽しくなる！」に参加した代表の小林晴香さん



▶キャリアアウーマンをイメージし、牛に赤いヒールを履かせたロゴマーク

冬期間の牛舎内の換気対策

牛舎を閉め切りがちになる冬がやってきました。ほとんどの農場では牛が一日中牛舎で過ごすことになりま

す。夏期間の暑熱対策と同じように冬期間の牛舎環境としての「換気」を今いちど確認し、快適な牛舎環境から生産性を維持

しましょう。

牛の呼気やふん尿からの水分、炭酸ガス、アンモニア、ホコリなどで、牛舎内の空気はすぐに汚れます。このとき換気が不十分だと、次のようなことが起こります。

冬こそ換気が大切

①湿度が上がることで天井や窓に結露が発生し、常に牛舎内が湿潤になります。

②牛舎内の湿度が上がると、牛床が乾きにくくなり、乳房炎の原因になります。

③アンモニア濃度が上昇し、呼吸器

病の原因になります。特に若い牛では影響が大きくなります。

冬の換気方法

牛の体に直接風を当てることなく、ゆつくりと牛舎内全体の空気を入れ換えることがポイントになります。外気温と牛舎内温度の差が少ない昼間の換気を心がけましょう。

「つなぎ牛舎の場合」換気扇は回っていますか？

冬の換気にこそ換気扇が有効です。常にゆつくり回して牛舎の換気を行いましょ

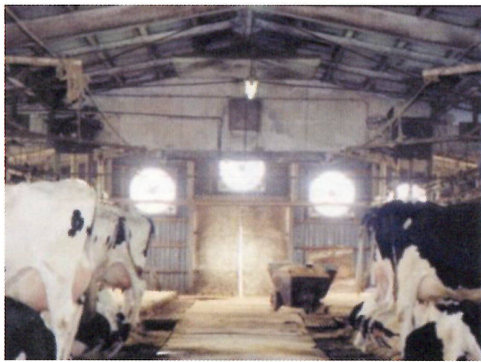


写真1 常時、換気扇をゆつくり回して排気する

換気扇を回すだけでは汚れた空

気は有効に排出されません、新鮮な空気を取り込むため、給水設備が凍らない程度に窓や扉を開閉しまし

う。いちど窓を閉め切ると結露で窓が凍り付き、一冬中開けられなくな

るおそれがあります。また、換気扇のない牛舎でも、暖かい日中は窓や扉をこまめに開け閉めして、できるだけ空気を入れ替えに取り込みま

「フリーストール牛舎の場合」牛舎は閉めきらないように！

汚れた空気（牛の体温で暖まった空気）は上昇し、屋根の開口部から排出されます（図1）。

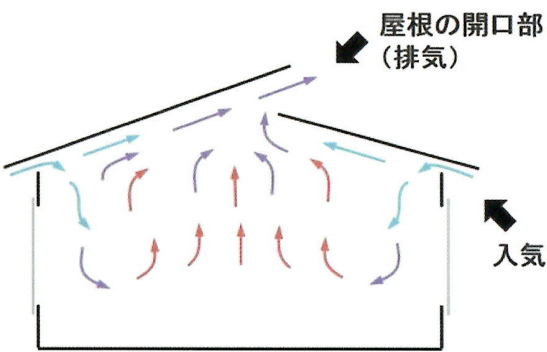


図1 フリーストール牛舎の空気の流れ

屋根の開口部は閉めきらないようにしまし

う。屋根の開口部を開放すること（排気）と同時に重要なのが、新鮮な空気を取り込むこと（入気）です。

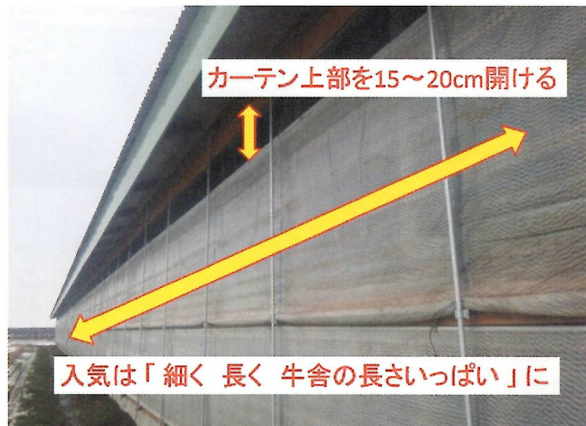


写真2 牛舎側面のカーテン上部を開けて入気する

牛舎全体の空気を入れ換えるためには、入気部分ではできるだけ牛舎の長さいっぱい細長くする必要があり

ます。牛の体に直接風が当たらないよう側面のカーテン上部などを少し開けて新鮮な空気を取り込みま

しょう（写真2）。厳冬期になる前に牛舎が換気できるかを見直して、生産性の維持につとめま



日本の伝統「書道」に魅せられ学ぶ

取材当日は、別海町公民館にて別海町芸術文化祭(書道展覧会)が開催されるなどお忙しい中、高橋徳正代表に「中春別墨友会」のサークルのお話を伺いました。

高橋徳正さんは中標津町の「雨城書道教室」に30年以上通われ、たまたま中春別から通っていたという事もあり、同じ趣味を持つ人たちが中春別で書道を通して

集まり、交流する場があり、子供たちから大人まで字を書く楽しさを広く普及させることができたらと願い、「仲間と出来ることからやっついでいこう」と、平成8年に別海

くことで心は落ち着き、集中力が養われます。毎週1回、火曜日夕方15時から19時まで中春別ふれあいセンターで、幼児(5歳)から一般の人まで13人が指導を受けながらアットホームな雰囲気です。書道を楽しんでいます。

書道と聞くと静寂な空気

町の文化協会へ「中春別墨友会」の届け出を出して20年ほどたちました。美しく文字を表現することは心を伝える上で大切なことです。また、字を丁寧に書

の中で書くというイメージがあつたのですが、「中春別墨友会」では子どもたちが来た順に、誰に言われるでもなく半紙に筆をはしらせていました。他の人が雑談していても気にする事なく、気持ちをおろちよつと驚きでした。それを優しいまなざしで、「この字はここが



良くて、たね、もう少しこのように書いたらもっと良くなるよ」と褒めて育てる指導に、子どもたち



も素直にうなずきます。「子供たちには臨書を使い基本となる留め、跳ね、礼儀、作法などを繰り返し勉強し、楽しむというのを教えている」と高橋さん。パソコンが多く普及している今だから、意識して字を書くことこそ大切なことではないでしょうか。また、一般の人に



は「これまで使い続けてきた臨書はあまり使わなくなり、積み上げてきた知識や技術を活かし書きたいように書いている」とのこと。ただ創作するときには臨書を使うこともあるようです。1週間に1回でも自分と向き合い、書と向き合うのはとても大切な時間で、日本の大切な伝統文化でもあります。書を通して多くの人たちとコミュニケーションがとれたら素敵なことですね。年に1度、「書初めをしよう」と1月の冬休み中にサークルの枠をこえ「中春別ふれあいセンター」で開催されます。初心者も大歓迎です。多くの人が、たちが、気軽に書を楽しみたい方を募集しています。詳しくは高橋徳正(TEL0153-76-2936)さんまでお問い合わせください。



中春別農協年金友の会(高橋昌晴会長)では、11月21日(月)にお楽しみ会を毎年お世話になっている中標津町のマルエー温泉俵橋にて、43人の参加のもと開催されました。8月に開催された時

に会う仲間と談笑していました。余興でカラオケとビンゴゲームを用意しました。カラオケでは皆さん歌ったり、デュエットや合唱で歌声を披露しました(高得点の連発!!)。

りがとうございました。今年度から新しい事務局となりわからないことがたくさんありましたが、会員の皆様から協力をいただき無事、年間行事をやり遂げることができました。お体に気をつけていただき、来年度もまた元気な姿でお会いできることを心より楽しみにしています。

中春別農協年金友の会 お楽しみ会

今年最後の楽しい時間をみんなと過ごしました



より参加人数が増えました。高橋会長から「来年度に向けて年金友の会の増員を目指していきましょう」との挨拶がありました。食事が始まるとおいしい料理に皆さん箸が進み、お酒やジュースを片手に席を回り、久々

ビンゴゲームでは豪華景品を用意しました。順々に豪華景品が当たり、中盤と終盤に良い景品としてラッキー賞を1本ずつ入れました。複数人ビンゴになりジャンケンで勝敗を決めたりと、大いに盛り上がりました。最後になりますが、今年度の中春別農協年金友の会の行事は全て終了しました。たくさんのご参加あ



ホルスタイン写真コンテスト

中春別乳牛改良同志会(竹田 潤会長)では、
毎回好評であります「ホルスタイン写真コン
テスト(未経産)」を行いますので、投票要項に注意し
てお早めに応募して下さい。

予想投票応募要項

1. 同封しています予想投票用紙に6頭の序列付を
行い、その牛の該当記号(A~F)を記入して下さ
い。
2. 全問正解者、また、正解率の高い方に賞品を贈呈

致します。なお、正解者多数の場合は抽選によ
り決定致します。

3. 住所、氏名、記号は、はっきりわかりやすく記入し、
投票用紙を畜産課(畜産指導係FAX76-3006)
または、授精師にお渡し下さい。
4. 応募〆切は、1月20日となっておりますので期
日厳守にて応募して下さい。
5. 序列・講評と全問正解者(当選者)は2017年2
月号で発表致します。

A



B



C



D



E



F





みんなが主役!

中春別小学校学芸会

95人の中春っ子で笑顔の花を咲かせよう



95人みんなが主役の笑顔輝く学芸会となりました。

5・6年生による舞踊「YOSAKOI-中春別2016」、キレのある動きや迫力を見せ、会場内を多に盛り上げました。

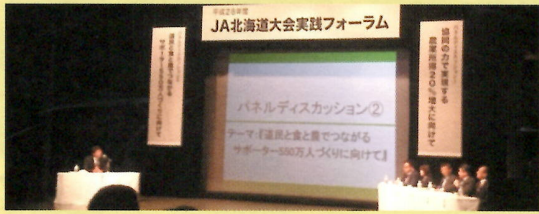
幕が上がリ、1年生によるはじまりのあいさつ、全校合唱「星の大地に」を歌い、体育館中にきれいなハーモニーを響かせました。

劇では学年ごとに分かれ、それぞれ手作りの衣装を着てテーマに沿って役になりきり、可愛らしいダンスを踊るなど観客を魅了しました。

この日のために一所懸命セリフを覚え、頑張って練習してきた子どもたち。10月16日(日)、朝早くからたくさん家族がビデオカメラと敷物を抱えて体育館に集いました。



JAグループ通信:大会実践フォーラム 特集号



毎月、JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介しておりますが、今回は、11月2日に開催したJA北海道大会実践フォーラムで発信した「JAグループからのメッセージ」をお伝えします。

「JA北海道大会実践フォーラム」では、昨年の第28回JA北海道大会の決議事項に対する実践機運を高めることなどを目的に「農業所得20%増大」と「550万人サポーターづくり」をテーマとするパネルディスカッションと、JAグループからのメッセージとして決議事項の実践状況を発信しました。

以降、メッセージの内容を掲載します。

JA北海道中央会

私たちは大会決議事項である「所得20%増」「担い手倍増」「サポーター550万人づくり」「JAグループの人づくり」など、息の長い取り組みを続けて行かなければなりません。

今後、協同の理念のもとで着実に実践を積み重ね、農業・JAの意義をグループ内外に積極的に発信し続けながら、北海道農業の価値を高めて行くことで道民や国民に信頼され愛されるJAグループになることを目指して参ります。



JA北海道信連

新規担い手倍増、農業所得増大の取

り組みとして、各連合会が連携しての「後継者親元就農」「ICT導入」等へ助成支援する「担い手確保・育成支援事業」の実施や後継者等向けに借換による償還負担軽減を図る資金を創設しました。



また、550万人サポーターづくりとしてコンサ

ドーレ通帳の発行、親子料理教室、「ドド貯」貯蓄キャンペーンの実施など、JAファンづくりに取り組みました。今後も、選ばれるJAバンクを目指して取り組んでまいります。

ホクレン

「販売・購買・営農支援を三位一体とする事業運営」を基本戦略とし、「価値向上」「生産性向上」「コスト低減」の実践を通じて「農業所得の向上」を目指すとともに、経営の合理化による配当の向上、主要品目全般における手数料の引き下げ、各種奨励施策の実施など、生産者・会員JAへの最大限の還元を努め「皆様に選ばれるホクレン」を目指します。



JA共済連北海道



「相互扶助」を事業活動の原点に「ひと・いえ・くるまの総合保障」により、組合員・利用者が健康で安心して暮らせる地域社会づくりに貢献しています。

今後、引き続き農業経営に貢献する取り組みと、JA支援の強化を重点事項として、地域密着の社会貢献活動を展開しながら組合員・利用者との結びつきを深めてサポーター1550万人づくりに取り組みます。

JA北海道厚生連

厚生連は、設立以来「農民の健康保持と生活文化の向上」を目指し、安心して暮らせる地域社会と農村の環境づくりに寄与してまいりました。

今後についても、地域のつながりを守る生活基盤としての機能発揮と、道民と食と農でつながるサポーター550万人づくりへの貢献を「医療・健康管理・高齢者福祉・配置薬」の視点から推進し、取り組んでまいります。



「JA2MP」で検索！または下記のバーコードでダウンロードを！



ポイント貯まる!

JA²MP 無料配信スタート!

農業イベントや関連施設のチェックインスポットラリー、直売所から発信するオススメ農畜産物情報など、JAグループ北海道ならではの、おトクなコンテンツが満載です!

食と農のおトクな情報にジャンプ!
JAグループ北海道のスマホアプリ。

チェックインスポットラリー

農業イベントで、ポイントを貯めよう!

季節の農業イベントや、全道各地に多数あるJAグループ北海道の関連施設(直売所、ガソリンスタンド、JAバンクATM、医療施設、Aコープ等)にチェックインすると、ポイントが貯まる!週末などにお出かけの際は、近くのチェックインスポットを探すこともでき、便利で簡単なポイントラリーです。ポイントを集めると、豪華な景品が当たるプレゼント抽選会に応募できます。



オススメ農畜産物情報

直売所からの、とれたて情報をゲット!

全道各地にあるJAの直売所から、旬の野菜、地域自慢の特産品などの情報をタイムリーに発信!お出かけ先近くの直売所で何が売られているかも、簡単にチェックできます。中には、そこでしか手に入りにくい、珍しい農畜産物も...?さらに、直売所までのルートもすぐにナビゲート!



今月の特集

テーマにそって、食と農に関するおトクな情報や、季節の楽しい農業イベントなどを次々とお紹介!毎月更新していく予定ですのでお楽しみに!

お知らせ

食と農に関する耳よりなニュースを、各JAグループ北海道からお届けします。

ダウンロードはコチラ



※画像はすべてイメージです。

●動作環境: iOS 8以降、Android OS 4.4以降を推奨。※OSのバージョン、機種により正しく表示されない場合があります。 ●左記は今後予告なく変更となる場合があります。 ●[Android][Google Play]は、Google Inc.の商標または登録商標です。 ●[iPhone][App Store][iTunes]は、米国およびその他の国々で登録されたApple Inc.の商標または登録商標です。 ●本アプリのダウンロードおよびご利用には別途通信料がかかります。お客様の責任となります。(本アプリのバージョンアップの際や本アプリが正常に動作しないことにより高設定などで追加的に発生する通信料を含みます。)

7月より開始したスマートフォンアプリ「JA2MP」のダウンロード数が5000件を突破しました!
当JAのチェックイン回数も1320回(11月30日現在)を超えました!

全道各地のJAスポットを巡りチェックインしてポイントをゲット! 貯まったポイントで豪華賞品が当たる抽選会にチャレンジ! 第1弾のキャンペーン期間は12月31日まで!

当JAのチェックインスポットは

- ・JA中春別 ・JA中春別給油所 ・JA中春別Aコープ ・JA中春別ミルク王国
- ・JA中春別金融共済課(JAバンク店舗・ATM)です。どんどんポイント貯めましょう!

抽選会の応募方法は

- ①チェックインの左上メニュー
- ②ポイント管理
- ③チェックイン履歴を下へスクロール
- ④「ポイントを利用してキャンペーンに応募する」

●【経営科】農ク全国大会、堀君が入賞!

10月26日(水)、27日(木)に大阪府で開催された学校農業クラブ全国大会に本校から3人の生徒が出場しました。農業鑑定競技では3年生の堀有樹君と佐藤美稀さんが畜産コースに出場しました。また、代議員会には3年生の渡部優歌さんが東北北海道連盟を代表して会議に参加しました。大会の結果、3年生の堀有樹君が畜産コースでは昨年を引き続いて入賞を果たしました。大会式典では全国大会で最優秀賞を受賞した発表を参観し、各校の優れた実践を学習できたのは大変良い経験となりました。次年度は岡山県で同大会が開催されます。現1・2年生も学習に励み堀君に続いてもらいたいと願っています。

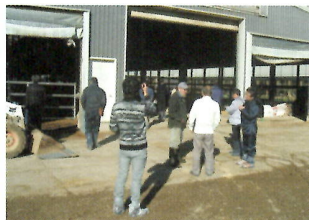


大会式典会場にて

【農業鑑定競技(畜産)】 堀 有樹(3年) 優秀賞

●【経営科】海外研修を実施!

11月7日(月)より14日(月)の8日間、本校生徒の海外視察研修が行われました。別海町酪農後継者を育てる会(原井松純会長)と別海町のご支援のもと、カナダの酪農視察を実施しております。ロイヤルウインターフェアとケベック州の酪農場2戸、オンタリオ州の酪農場を視察いたしました。世界最高峰のウシ達、先進的な農場は見応えが十分であるとともに、日本との大きな違いを実感させられるものとなりました。詳細は次号にてお伝えいたします。



牧場視察の様子

●【経営科】酪農研修を実施しました!

10月25日(火)に別海町酪農研修牧場で1年生にとって2回目となる酪農研修を行いました。吉田達夫場長から乳牛管理に関する講義をいただいた後、育成牛をはじめ牛群の管理を実習させていただきました。入学から7カ月、1年生も実習の内容を理解し、積極的に実習に取り組んでいました。この経験を、次年度以降の専門科目に活かして学習を進めていきます。



実習の様子

●【専攻科】新規就農者交流会へ参加

10月18日(火)に根室管内新規就農者交流会が中標津町で開催され、専攻科学生8人が参加しました。新規就農者が抱える課題を情報共有・意見交換し相互の交流を図ることを目的に行われており、関係者を含めて約50人が参加しての交流会となりました。



相馬さんの発表

「私が目指す酪農」というテーマのもと、専攻科1年目学生の相馬晴香さんが後継者の立場からの事例発表を行いました。その後、グループ毎に分かれての討議と昼食交流会が行われました。

事例発表の相馬さんをはじめ参加学生は、グループ討議において、新規就農者の皆さんや指導農業士の皆さんと今抱えている問題点や、改善すべき点について活発に意見交換を行いました。今後の酪農経営に向けた良い刺激と多くのヒントを得ることができた様子でした。また、その後の昼食会においても、参加者との交流を深めることができました。学生からは、「普段、経営についての悩みを相談する機会が少ないが、交流会で悩みを話すことができ、また、親身に相談に乗っていただいたことで、気持ちが楽になった。今後の経営に活かしていきたい」などの感想が聞かれ、実りある交流会となりました。



グループ討議の様子

●【専攻科】“あ・ら・かると”交流会

11月15日(火)に根室農業改良普及センターで、ねむろ農村女性グループネットワーク協議会主催「“あ・ら・かると”交流会」が行われました。この交流会は、農村女性の自己研鑽とともに、農業・農村の活性化に向けた役割と取り組みを共有する交流会です。意見交換会では、実際の後継者問題について、農業者としての女性の立場や在り方について熱い意見交換が行われました。昼食交流会では、参加した会員の皆様による自慢の手料理をいただきました。



交流会の集合写真

参加した相馬さんは、「女性同士の正直な話を聞くことができ、とても充実した交流会だった」と、交流会が酪農を見つめ直すよい機会となったようでした。

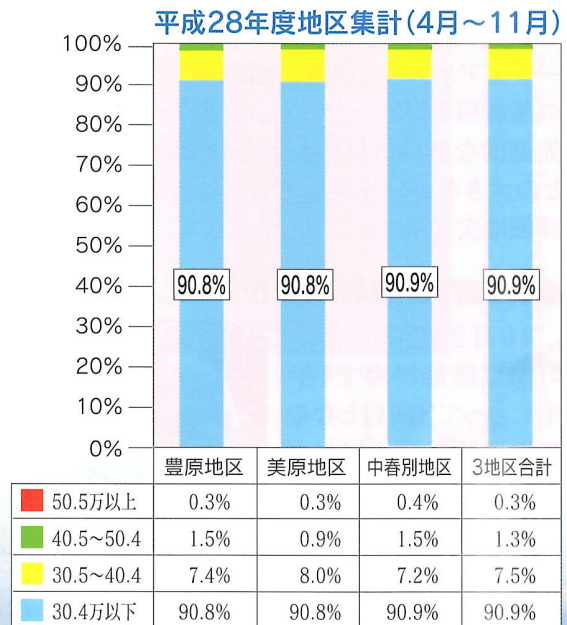
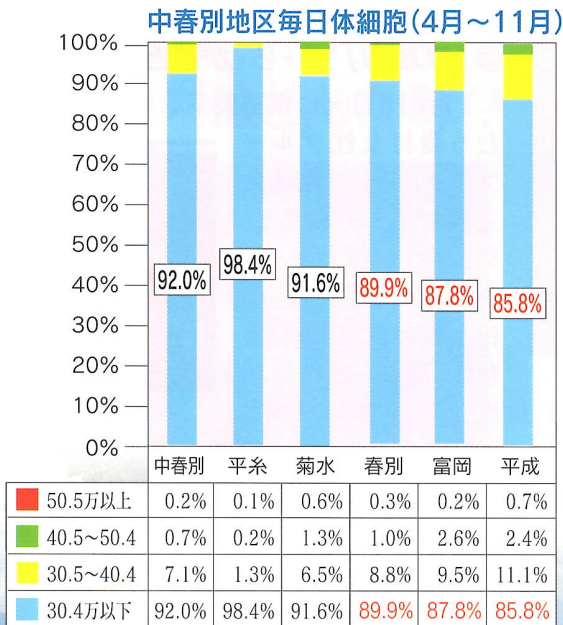
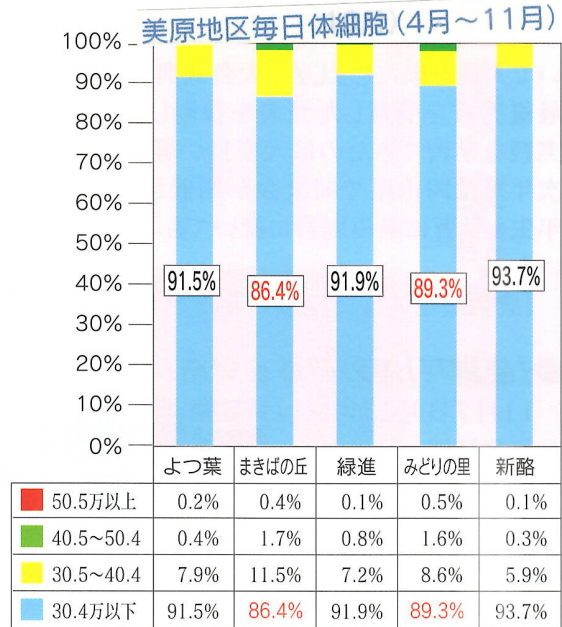
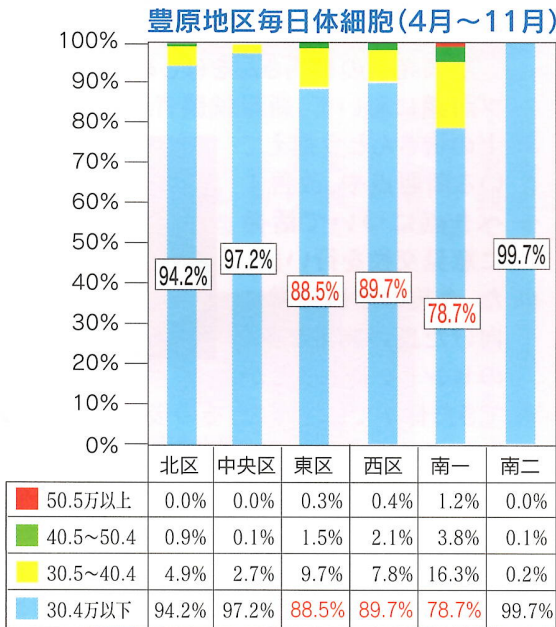


生乳汚染事故を無くそう！

- 抗生物質混入事故…………… JA中春別発生件数 **3**件 管内合計では**8**件です。
- 生菌による汚染事故…………… JA中春別発生件数 0件 管内合計では0件です。
- 異物混入(小動物)、加水、血乳による汚染事故… JA中春別発生件数 0件 管内合計では**3**件です。
- 異臭、異常風味による汚染事故…………… JA中春別発生件数 0件 管内合計では0件です。

記憶より、記録が大事！ ポジティブリスト

良質生乳生産推進委員からの標語



マスコットキャラクター 「モーちゃん」誕生!

中春別農協のマスコットキャラクターのモーちゃんが11月誕生しました。これからJAのいろんなイベントで皆さんのお目にかかると思います。見かけたら優しく、未永く可愛がって下さいね。

モーちゃんからのご挨拶
「みんなヨロシクね～」



上段、西川副組合長(左)からモーちゃん、小湊組合長(右)
下段、伊藤酪農対策協議会会長、馬場女性部副部長、
南澤女性部副部長、兼松青年部部长

モ～帰りたくないよお～

雨が降る中、春から共和育成牧場に放牧され、のびのびと育った育成牛たち220頭、飼育農家の元へ返す「下牧」作業が10月20日(木)に行われました。

広々とした高原で約5カ月間過ごし、たくましく大きくなった牛たち。開放的な高原から離れるのが名残惜しいのか、ごねるように歩を進めない牛もいましたが、順番に並びトラックに乗り農家さんの下へ帰っていきました。

自然の中で過ごす出産時のリスクも減るので、安全に元気な子牛が生まれることを願っています。



10月 乳質乳価一覧表

(単位:円/kg)

10月分乳代支払単価

				単 価	算 出 基 礎	支 払 額	前 年 期	差	項 目	単価(円)/(kg)%	
乳 脂 肪 分				919.228		36.80	36.29	0.51	乳 脂 肪 分 ①	36円80銭	
無 脂 乳 固 形 分				583.333		51.41	50.82	0.59	無 脂 乳 固 形 分 ②	51円41銭	
補 給 金				3.6677		3.67	3.99	-0.32	補 給 金 ③	3円67銭	
計 画 チーズ 奨 励 金				1.6413		1.64	1.69	-0.05	チ ーズ 奨 励 金 ④	1円64銭	
乳 質 単 価	生 菌 数	ランク1	2	306,282,937.1kg		3.72	3.75	-0.03	脂 肪 率	全 道	4.00%
		ランク2	0	,594,941.3kg					農 協	4.06%	
		ランク3	-3	103,645.2kg					無 脂 固 形 分 率	全 道	8.81%
	体 細 胞 数	ランク1	2	264,165,034.7kg					農 協	8.78%	
		ランク2	1	25,002,856.6kg					成 分 乳 価	全 道	93円21銭
		ランク3	-2	4,675,084.1kg					①+②+③+④=⑤	農 協	92円21銭
合 計						97.24	96.54	0.70	乳 質 乳 価 ⑥	全 道 3円72銭	
									農 協 3円76銭	乳 代 合 計	全 道 97円24銭
									差 異 -1円27銭	農 協 95円97銭	

議案

1. 年末年始の業務日程について
2. 固定資産(農協有地)の売却について
3. 固定資産(農協有地)の(株)なかしゅんべつ未来牧場への使用貸借について
4. 平成28年度畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業(施設整備)に係る事業計画について
5. 平成28年度営農年度財産造成に伴う資金の借入・貸付について
6. 平成28年度営農年度クミカン取引に係る貸越極度額及び供給限度額の変更について
7. 平成28年度営農年度クミカン精算に係る資金の貸付について

報告事項

1. 組合員の脱退について
2. 平成28年度9月末定期監査報告について
3. 固定資産実査の終了について
4. 固定資産の除却について
5. 平成28年度9月末子会社の監査報告書について
6. 独禁法に係る組合員勘定制度に関する対応について
7. 平成28年度10月末営農生産関連実績について
8. 平成28年度飼料生産型酪農経営支援事業について
9. 別海北部地区国営かんがい排水事業について
10. 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業(1/2補助付きリース)需要額調査結果について

協議事項

地区別組合員懇談会の意見集約について



平成28年度 年末・年始の業務日程表

休業

日程 区分	平成28年		平成29年							
	12/30(金)	12/31(土)	1/1(日)	1/2(月)	1/3(火)	1/4(水)	1/5(木)	1/6(金)	1/7(土)	
事務所(除く信用)	午前中のみ業務									御 用 始
事務所信用窓口	平常業務					平常業務	平常業務	平常業務		
Aコープ中春別	9時30分~15時 営業	休 み (年末配達のみ)			9時30分~15時 営業			9時30分~15時 営業		
給油所	8時~17時 (給油・配送)	9時~15時 (給油・配送)			9時~15時 (給油のみ)	9時~15時 (給油・配送)	9時~15時 (給油のみ)	9時~15時 (給油・配送)		
倉庫	午前中のみ営業					平常営業	平常営業	平常営業		
訪問介護事業所 「あさひな」	平常業務				サービス提供のみ	サービス提供のみ	サービス提供のみ	サービス提供のみ		
人工授精	平常業務	午前中のみ業務	午前中のみ業務	午前中のみ業務	午前中のみ業務	午前中のみ業務	午前中のみ業務	午前中のみ業務	御 用 始	
共和育成牧場	(家畜管理業務のみ)									
生乳	抗生物質検査のみ	抗生物質検査のみ	抗生物質検査のみ	抗生物質検査のみ	抗生物質検査のみ	平常業務	平常業務	平常業務		
中春別マシンセンター	午前中のみ営業						午前中のみ営業	午前中のみ営業	御用始	

※農業機械・車両整備の連絡先 佐藤専務(携帯)090-9759-6449 土屋工場長(携帯)080-6086-3273

楠ジェイエー・ワンブ	午前中のみ営業									御用始
------------	---------	--	--	--	--	--	--	--	--	-----

※作業依頼の連絡先 山田専務(携帯) 090-8426-6465
久保山課長(携帯)090-1529-9846

ATM稼働日のご案内

当JA 12/31(土)~1/3(火)休業
1/4(水)より平常営業
ゆうちょ銀行・セブン銀行は12/31、1/1、1/2
は稼働。1/3のみご利用できません。

- ◎販売関連業務
- (1)初生トク集荷
年内最終集荷12月30日 年明集荷1月6日
 - (2)哺育・育成集荷
年内最終集荷12月30日 年明集荷1月7日
 - (3)ホクレン市場
最終開催日12月28日(初生のみ) 年明開催日1月11日

◎人工授精業務 午前中のみ業務、午後から休業

◎緊急時の連絡先

- (1)停電 北電72-2010
- (2)除雪(生乳集荷路線) 平間課長宅0153-86-2130、福島次長宅76-2157
- (3)給油 (緊急携帯)田中係長080-6090-2923
- (4)飼料等配送 (緊急携帯)別海貨物(山口)090-5072-3954
- (5)生乳検査 平間課長宅0153-86-2130(緊急携帯)090-2076-4014
- (6)夜間バルク抗生物質検査 (緊急携帯)090-2076-4014
- (7)FAX故障 目黒担当090-1643-2915
- (8)その他 山形課長宅70-4009、登部長宅75-0517

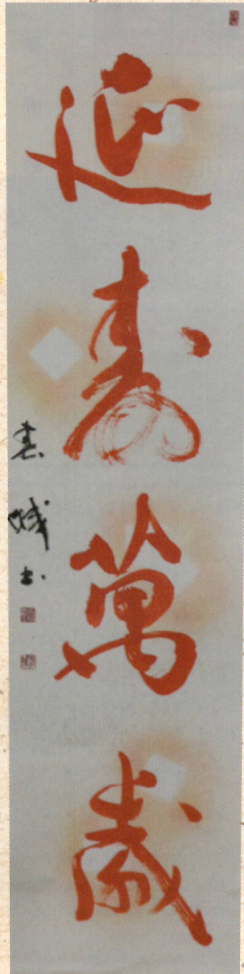
JA中春別酪農ヘルパー利用組合年末年始業務日程

- 休業 12月31日~1月3日(12月31日夕方~1月4日朝の業務)
- 業務開始 1月4日(夕)から通常業務開始
- 緊急ヘルパー受付

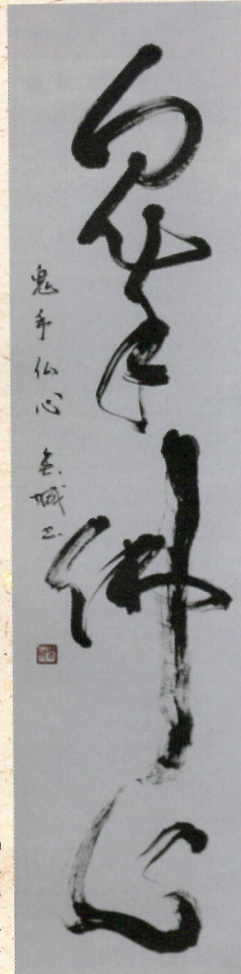
★農協休業日 水谷営農振興課長 携帯電話 080-5593-5318

組合員の 広 場

第57回道東書道展大賞



「延寿萬歳」



「鬼手仏心」



「翼戯池」

今月号の組合員の広場は「高橋徳正(春城)さん」の作品を掲載いたしました。
組合員の広場では習字や俳句、短歌、絵画、写真など多数の作品を募集しております、営農振興課・丸山までお気軽にご連絡ください。